

A clinical occlusion under the patients-centered treatment, handling an articulator properly.

生体本位の実践 咬合技工

——ラボサイドで活かす咬合理論と咬合器操作

佐々木啓一・三浦宏之／編

●臨床の現場（特にラボサイド）では、「チェアサイドにおける歯科医師と等しい目線で咬合を理解し、その理解のもと、咬合器という“仮の生体”を駆使して補綴物を製作し、歯科医師による咬合調整、再製、長期予後における不安定性を下及的に排除するラボサイドワークを実現する」ことが欠かせません。

●本書では、咬合理論を“患者＝生体”本位で捉え直すことで、咬合器を“生体本位”に合理的に調整して臨機応変に使いこなすことができるようにまとめました。

●咬合器を本当に使いこなすための基礎知識、生体を“実写する”クリニカルオクルージョンの応用知識、適材適所の咬合器操作など、ラボサイドで活かすことができ、チェアサイドで生きる咬合技工の本です。

CONTENTS

Part 1 “生体本位の”咬合学概論

1. 咬合理論の発展
2. 生体における咬合～構造とバイオメカニクス

Part 2 咬合器を使いこなすための基礎知識

1. 簡易咬合器の特徴と選択要件
2. 平均値咬合器の特徴と選択要件
3. 半調節性咬合器の特徴と選択要件

Part 3 生体を“実写する”

クリニカルオクルージョンの応用知識

1. 下顎運動
 - ① 限界運動と主な下顎位
 - ② 機能運動
2. ポステリアガイダンス
3. アンテリアガイダンス
4. 咬合様式
5. 咬合平面
6. 咬合彎曲
7. 咬合接触

Part 4 適材適所の咬合器操作を見る！

症例別・部位別解説

1. クラウン・ブリッジ編
 - ① 前歯部クラウン
 - ② 臼歯部クラウン
 - ③ 前歯部ブリッジ
2. デンチャー編
 - ① 中間欠損（前歯部ガイダンス残存）
 - ② 多数歯欠損～全部欠損
3. インプラント編
 - ① シングルスタンディング
 - ② 部分欠損
 - ③ 全部欠損

A4版

160頁・オールカラー

定価5,460円

（本体5,200円＋税5%）

医歯薬出版株式会社